



子どもの肌を紫外線から守るために、日焼け止めを使用している人も多いと思います。子どもの肌はデリケートなので、安心して使えるものを選びたいですね。

4～8月は紫外線量が多いので、日焼け止めを塗った上で帽子や上着でガードするようにしましょう。



いつ頃から使用しても良いの？



個人差はありますが、4～6ヶ月頃からの使用がおすすめです。新生児の肌は、大人と比べて厚さが1/3ほどで、水分量も10%ほどと言われています。日焼け止めの成分も刺激になってしまうので、それまでは薄手の長袖を着せたり、ベビーカーではタオルケットをかけたりして対応しましょう。



どのようなものを選べばいいの??

- ・お湯や石けんで落とせるもの
- ・紫外線吸収剤不使用のノンケミカルなもの
 - 肌への負担はゼロではありませんが、紫外線散乱剤のものを選ぶようにしましょう。
- ・テクスチャーやタイプから塗り心地が良いもの
 - ベース剤が肌の刺激になるものが多いので、クリームや乳液タイプがおすすめです。
- ・アルコールフリーのもの

気を付けたいこと

刺激になるものは、赤みやかぶれ、湿疹、アトピー性皮膚炎の原因になります。洗ったとしても、しっかり落ちていないと、成分が酸化してシミの原因になってしまうので注意が必要です。

また、オーガニック系のものであっても、植物エキスや精油が子どもの肌には刺激になってしまい、アレルギーへの懸念があります。

7月の花「グアバ (和名: バンジロウ)」

漢方としての利用方法のひとつであるグアバの葉でつくられたグアバ茶。世界各国でも健康に良いお茶とされているようです。

「強健」という花言葉があります。



登録は随時受け付けております。

気になることやご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。